



# まらまら

第31号

今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい...

## 男女共同参画 ネットワーク会議交流会

今 いきいきと輝いている  
男と女(ひととひと)に聞く!  
~その活動と取り組みについて~



11月22日、ハイトピア伊賀多目的室にてネットワーク会議交流会を開催しました。57名の方が参加され、盛大な会になりました。今年は、「活性化」や「安全」などのテーマを持って、地域で自主的な活動をされている3つの団体の方をお招きし、その活動についてお話していただきました。そのあと、グループに分かれて感想や質問などをまとめ、発表していただきました。各団体の発表を、少し紹介します。



## 活動発表

### NPO法人あわてんぼう

「あわてんぼう」は住民自治協議会の下部組織である女性委員会から生まれた。名前には「阿波地域の未来を展望する」という意味が込められている。その事業内容はお弁当・給食の配食サービス事業、地元イベント協賛事業・レストラン事業・情報発信事業を4本柱とし、展開している。平成24年には、企業が実施するNPO活動支援事業の認定を受け、また「三重県ビジネスプランコンテスト」では優秀賞を受賞。そんな経緯を経て、平成25年、初めて女性委員会に予算がついた。将来は、住んでいてよかったと実感できる地域づくりを目指して、活動していきたい。



### 柘植地域まちづくり協議会自主防災実行委員会

平成19年、地域での防災の取り組みを一本化するため、自主防災実行委員会が設置された。平成23年度に地域活動支援事業の認定を受け、まちづくり協議会の自主防災組織・指定避難所運営組織・区自主防災組織が一体化した組織となる取り組みを行った。翌24年度には災害時安否確認マニュアル・大規模災害時避難所運営マニュアルに基づき、大規模災害時の避難所初動マニュアルを作成した。こういった取り組みはトップダウンでなくボトムアップで、地域に合ったルール作りが大事だと思う。また関係機関とどう連携していくかも、重要である。



次ページへつづく

#### 編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策・男女共同参画課  
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地  
Tel.(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666

(平成26年2月15日発行)

#### 編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」  
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・  
宮田 美智子・三山 佳代子

## IDA“彩”

平成18年、解散した婦人会に代わって、猪田のまちづくりを楽しみながら応援しようと、有志を募って結成した。4種類の会議と、地区の3大イベント当日に開催する協カイベントの実施、ふれあいイベントの実施、会員のお楽しみ会、絵本の読み聞かせ活動の5つが、基本の活動である。この活動を通し、ふれあいの輪を広げること、地区外へも活動の場が広がった。これからもつながることの楽しさと大切さを伝えていければ、と思っている。



## 日本女性会議2013あなん 参加しました!!



大会テーマは「いきいき わくわく 小さなまちから新たなるステージ!」でした。「いつか阿南で開催を」という思いを抱き続け、やっと実現に至った意気込みが伺えました。

9つの分科会が開催され、どれも興味深かったのですが、第7分科会「ワーク・ライフ・バランス」に参加しました。7名の事例発表があり、大企業では、働きやすい環境の整備を管理職と社員のみinnで考えているという事例を、また地元徳島県で、1年間育児休業を取得したという方からは、周りから白い目で見られることがあったが、新聞で取り上げられて周囲の目も変わってきた、という体験談をお聞きしました。経営者の1人として、従業員の生活や家庭のことももっと考えねばと反省させられました。

2日目の記念講演は、料理研究家の浜内千波氏による食育のお話でした。手作りは家庭に会話が生まれ、絆が生まれる、料理は平等なのだから、男性も料理を覚えてほしい、などと話されました。

貴重な経験をありがとうございました。

(伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会長 西出孝子)

毎年開催されている日本女性会議。今年は10月11日~12日徳島県阿南市で開催されました。男女共同参画ネットワーク会議から、お二人が参加されました。

分科会は「ワーク・ライフ・バランス」に参加しました。男性の育児休業・会社の職場作り・半農半ITの働き方など、新たなワークスタイルの実践発表でした。雇用や賃金だけでなく、意欲のある人が多様な選択肢を持てる社会を目指しています。

開会式では、阿南市の子どもたちにより、日本や世界の課題や将来の夢をミュージカル仕立てで披露され、素晴らしいオープニングでした。講演は、人間としての心の糧である、食育のお話でした。食卓での笑いや会話、作るとき心が家庭を大切にしたい、感謝の心を育む。笑いを交えながら、熱い思いを聞かせていただきました。

最後は“圧巻”の阿波踊りで幕を閉じました。

(伊賀市男女共同参画ネットワーク会議

副会長 吉岡法子)



## 父子(おやこ)料理教室

今年のメニューは…

- マカロニグラタン
- チンゲン菜のごはん
- サラダ
- 揚げシューマイ
- スープ



今年は、10組21名のみなさんが参加されました。昨年に引き続き、講師は松永啓子さんをお願いしました。はじめに、レシピに沿って作業の手順を説明していただいてから、料理に取りかかってもらいました。説明を聞いている姿はみなさん真剣そのもので、作業に移っても子どもたちは楽しみながらでしたが、お父さんたちは一生懸命。まじめに取り組まれている姿が印象的でした。

## TOPICS

## part 8

## マタニティハラスメント

### ○マタニティハラスメント

この言葉、お聞きになったことがありますか？働く女性が妊娠や出産によって、嫌がらせや退職勧奨などの不利益を受けることを、こう言います。「セクハラ」「パワハラ」に並ぶ3大ハラスメントのひとつなのです。

連合が昨年5月に行った「マタニティ・ハラスメントに関する意識調査」によると、妊娠経験者のうち25.6%の人が被害にあったと回答しています。これは、セクハラ被害に遭ったことがある女性の割合(17.0%) (連合の一昨年の調査より)を上回っています。

### ○「マタハラ」が起こるのは？

同調査ではこの「マタハラ」が起こる要因について、「男性社員の妊娠・出産への理解や協力不足」とする人が51.3%を占め、次に「会社の支援制度設計や運用の徹底不足」、「女性社員の妊娠・出産への理解・協力不足」と続いています。また、会社に妊娠・出産の当事者への支援制度がある(47.4%)が、活用できているのは16.3%、妊娠・出産の当事者をフォローした社員に対する人事評価など周囲の社員へのケア制

度があり(24.0%)、機能しているのは11.5%という結果が出ています。

### ○もっと思いやりを

女性が働きながら妊娠・出産をするには、心身ともに大きな負担がかかります。そのため事業主は母子の健康を守るよう、支援していく義務があります。そして、制度等は作るだけでなく、それを利用しやすい雰囲気づくりも必要です。

妊娠することで、女性の体調は大きく変わります。今までできていたことが、できなくなる、ということも多々あります。そのことで、同じ職場の人に負担がかかるかもしれません。それは、だれかが病気や家庭の事情で仕事を休んでも、同じことだと思うのです。困ったときはお互いさま。誰かが仕事を休まなければならない状況になったとき、周りがフォローする体制さえできていれば、妊娠中や子育て中の人へのハラスメントは少なくなるのではないかと、  
と思います。

(男女共同参画係)





「伊賀市男女共同参画基本計画」に、基本目標として、「男女の人権尊重(人権としての性の尊重と健康支援)」があります。すべての保健事業を通じて個人が尊重される心と体の健康づくりに取り組むことがうたわれています。

## 「がん検診無料クーポン」

20～60才の特定の年齢対象者に5年に一度郵送で届きます。  
子宮頸がん、乳がん、大腸がんの無料クーポンは、絶対にお得ですよ♪

### お得情報

現代の食生活の傾向から、特に、大腸がん、乳がんの人が増えています。大腸がん検診は本人が受診に出向かなくても検査キットに便を取り代理の人の提出もできます。

取材をした編集員は迷わず 3/15 の検診、大腸がん(夫の分と)と乳がん検診を申し込みました!



### お得情報

伊賀市は、男性の方に前立腺がんの検診もあります。対象は50才以上、自己負担は個別検診900円、集団検診700円、内容は血液検査です。

来年度、料金改定の予定です。



あるアンケートで、男性ががん検診を受けない理由に「もし、がんになって治療闘病となったら会社をやめなきゃいけない、やめさせられるから」と。あなたもそうですか?

### 市民の声

的場裕子さん

昨年10月、下腹部の痛みや、おりものに微かな出血が見られ、職場の仲間の勧めで病院に行きました。

初診では、“膀胱炎”と。念のため、子宮がんの検査をしました。

結果として、がんにはなっていなかったのですが、半年後に検診を受ける予定です。

「あなたは、今来てくれてよかった。がんは症状が出てくると進行している可能性があるから・・・」と。

あの時、病院に行かずにがんになっていたら、と思うとぞっとします。

何でもない時に、検診に行ってね。



次回の集団がん検診の案内は、広報いが市 6月1日号に掲載予定です。

お問い合わせ 健康推進課 22-9653

